

特集

ワーク・ライフ・バランス最前線

多様化する働き方、広がる選択肢

ワーク・ライフ・バランスの「今」

ワーク・ライフ・バランスは「仕事と生活の調和」を意味します。行政や企業等でワーク・ライフ・バランス実現に向けた取組が推進される中、人々の意識や働き方はどのように変化しているのでしょうか。また、仕事と生活の調和をとるためには何が大切な

のでしょうか。

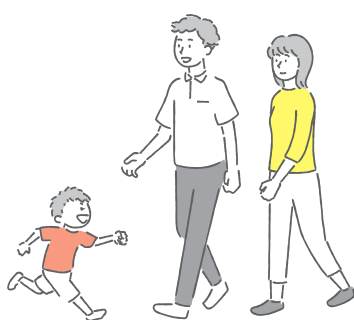
国の意識調査をみると、非正社員より正社員、女性より男性で、仕事を優先させている割合が高く、正社員の男性では過半数を超えています。共働き家庭



が増え、パートナーとの協力体制、特に男性の積極的な家事・育児参加が必要

になっていきますが、仕事と家庭生活ともに優先させている男性の割合は1割強となっています(図1)。

また、国の他の調査をみると、以前と比較して、週60時間以上働く労働者割合が減ったことや、年次有給取得率が向上し、出産後も働き続ける女性が増



え、男性の育休取得率が向上したことなどがわかります(図2)。長時間労働を防ぐ仕組みづくりや、休暇取得促進、フレックスタイム制等の各種制度整備など、企業の取組も一定の成果をあげている要因の一つと考えられます。



視聴はこちら

「働く、が変わる。TeleWork」
～テレワーク導入事例：総務省編～
配信：総務省動画チャンネル(総務省)



視聴はこちら

WLB体操第一
配信：九州・山口ワーク・ライフ・バランス
推進キャンペーン



プラスアルファ
見てまなぶ

